

ULVAC

アルバックテクノ株式会社

世界へ波動する、アルバックテクノの新次元

CORPORATE PROFILE

真空の可能性を拓く 発創力と、解決力と。

真空装置・設備のメンテナンスサポーターから、ソリューションパートナーへ。

想像を超えた英知の結晶がイノベーションだとすれば、

地球上に存在しなかった真空環境の実現もその一つに違いありません。酸化のしにくさ、沸点の低さ、絶縁性の高さ、

桁違いの清浄度といった真空の可能性を信じて、日本で初めて装置製造に挑んだアルバック。

私たちアルバックテクノは、そのメンテナンスを中心としたサービスを1979年以来展開してきました。

そこで培った豊富な経験とノウハウを結集して今、

真空装置・機器のメンテナンスサポーターから、ソリューションパートナーへ。

お客さまのニーズに真正面から向き合いながら、新たな価値創造への歩みを進めていきます。

HISTORY

沿革



アルバックの歩み

海外グループ会社との連携によるサポート活動

アルバックグループ各社の事業は、さらにグローバル化を加速し、海外グループ会社との連携を図り、日本国内で推進してきたソリューション事業を海外に展開しています。

現在

高度情報化など、次世代真空技術で未来を切り拓く

アルバックは、未来が求める新しい価値を創造し、継続的で豊かな社会に貢献しようと、「情報の高度化分野」「省エネ・創エネ分野」へも挑戦していきます。



洗浄事業が加わり、カスタマーサポート事業拡充

アルバックグループをあげての顧客満足度を高めるためのソリューション事業を充実。洗浄事業と中古品売買事業が加わり、当社はグループの中核企業としてソリューションを展開しています。

2000

2000

中国・韓国・台湾など東アジアへの海外進出

2000年代、大型液晶テレビの生産拠点は台湾、韓国、中国に拡大していき、アルバックもまた、積極的に東アジアへの進出を図りました。



国内拠点の充実、真空材料、表面処理事業が加わる

1980年代半ば頃からアルバックとの密接な連携により、国内サービス拠点を設置していきました。また、90年代に入ると、メンテナンス事業だけでなく、真空材料販売事業や表面処理事業が加わりました。

1980-'90

1990

薄型テレビ産業に貢献する超大型真空装置事業の拡大

1990年代、アルバックはますます高度化する真空装置を提供していきます。特に卓上型パソコンの液晶表示画面向け真空装置は世界へ拡大していきました。

1980

生産・サービス拠点拡大、半導体・電子産業への貢献

アルバックの1980年代は、さまざまな産業分野に貢献してきましたが、特に、半導体・電子産業向け真空装置は大好評を博しました。



アルバックテクノ設立。サービス拠点の拡大

1979年、アルバックのサービス事業部を分離し、誕生したのがアルバックテクノ株式会社(当時はアルバックサービスという社名)です。真空業界では国内初ともいえるサービス専門会社でした。

1979

1970

新技術で自動車・家電など高度技術産業への貢献

1975年、アルバックはアメリカの大企業IBMから全自動半導体製造装置を受注。アルバックの確かな技術が認められました。

1950-'60

真空総合メーカーとして真空装置国産化に挑戦

アルバック設立の3年後、それまでのアメリカ製真空装置の輸入販売から、本格的な国産化へシフトしていきました。

1952年、産業界への貢献を目的にアルバック設立

株式会社アルバックは、松下幸之助を始めとする支持のもと、若き真空研究者を中心に日本の産業貢献を目指して設立。以来、世界に冠たる真空総合メーカーとして価値ある製品を提供しています。

アルバックテクノの歩み

未来に向けた真空技術の最大発揮へ、 持てる力の全てを発揮していく。

情報の高度化分野へ、省エネ・創エネ分野へ。

さらに新エネルギーや医療・環境などの未来領域へと、真空技術の可能性はますます大きく広がっています。

そのダイナミックなムーブメントを世界に先駆けて展開するアルバックグループの一員として、

私たちアルバックテクノは持てる技術力とサポート力の全てを結集。

真空技術が秘めた無限のポテンシャルを、未来に向けて最大発揮させていきます。

高密度実装

次世代不揮発性メモリ

医療

次世代ディスプレイ

高輝度LED

パワーデバイス

研究開発

RESEARCH & DEVELOPMENT

電子部品・MEMS

超微細配線

新エネルギー

次世代自動車

環境

高効率太陽電池

確かな技術によって支えられた
真空事業が切り拓く未来。

真空技術

VACUUM TECHNOLOGY

BUSINESS DOMAIN

アルバックテクノの領域

真空が有する無限の可能性を展開するための支援力として機能。

装置および
各種メンテナンス

再生洗浄

表面処理

部品供給

中古品売買・
再生

装置の改良・
改善活動

装置設計・
製作

FOS
ファクトリー
アウトソーシング

BUSINESS OVERVIEW

装置および
各種メンテナンス

再生洗浄

表面処理

部品供給

中古品売買・
再生

装置の改良・
改善活動

装置設計・
製作

FOS
ファクトリー
アウトソーシング

お客さま一社一社の想いに向き合い、 一つ一つの声に応える真空事業体として。

いつも。そして、いつまでも。高性能、高精密な真空装置・機器の安定稼働を支えるために、

私たちアルバックテクノはメンテナンスを中心としたサービスを展開してきました。

そして今、用途需要が拡大するとともにお客さまのニーズが多様化するなか、

従来の枠を超えてその事業領域を装置改善・改良提案(CIP)、装置設計・製作にまで展開。

さらにグローバル活動として私たちのサービスを海外グループ企業と連携して積極的に推進しています。

BUSINESS OVERVIEW

事業紹介

設立以来の真空機器・装置のメンテナンスサービスに加えて、お客さまのニーズを敏感に取り入れたカスタマーサポート事業を次々に拡大。皆さまの生産ラインの安定稼働や研究活動に確かな成果をもたらす私たちアルバックテクノの各種サービスを存分にお役立てください。

表面処理・再生洗浄事業



国内最大級の処理設備を活用し、表面処理・再生洗浄のニーズにお応えしています。当社オリジナル技術と米国マグナプレート社との技術提携による技術の双方を適用しながら、一般作業向けから超大型部品に至るまで、独自のサービスを提供しています。

中古機器・装置売買事業



真空装置・機器を熟知した技術ノウハウを基に、中古機器・装置の売買事業を展開。中古品の再生・改造から解体・据付け・立上げ、納入後の運用提案・メンテナンス・材料供給に至るまで、社内専門部署との連携によりトータルにサポートいたします。

機器・装置販売事業



品質と機能性で信頼をいただくアルバックの真空機器・装置を、アルバック販売との連携により販売しています。その多彩なラインナップは、真空ポンプ関連、計測器関連、成膜・装置・電源関連に及びます。消耗部品についてもお気軽にお問い合わせください。

装置改善・改良提案(CIP)事業



CIP (Continuous Improvement Program) とは、国内外のお客さまの装置に対し生産性向上や装置の延命、アップグレードなどを目的とするサービスです。アルバックテクノ及びグループ内での豊富なノウハウを結集し、最適なお提案を実施しています。

メンテナンスサービス事業



お客さまの生産ラインを最高の技術で迅速にサポートするために、20か所を超えるサービス拠点を国内に設けるとともに、客先至近・24時間緊急対応という万全の体制を確立。装置、真空ポンプから計測機器、搬送系ロボットに至るメンテナンスのご要望にお応えしています。

部品販売事業



真空機器・装置の真空材料や真空部品に至るまで、確かな目で厳選した高品質部品を豊富に取り揃えています。徹底した管理体制のもと、全国のサービス拠点や海外グループ会社を窓口として、迅速かつきめ細かな在庫管理をベースにした安定供給を実現しています。

装置設計・製作事業



アルバックテクノでは、お客さまのご要望に応じた真空装置の設計・製作サービスも承っています。豊富な実績の中で積み上げた製作事例とCIPのノウハウを駆使し、ご要望にきめ細かく対応。アルバック製品のラインナップにない特型装置についても柔軟にお応えしています。

最前線のニーズを敏感に捉える。 そして最先端の提案に繋げていく。

1979年以来、メンテナンスを中心としたサービスを展開してきたアルバックテクノ。

今では国内5,000台以上の真空装置に対する保守サービスを行っています。

日々、お客さまのもとに足を運び評価やお困りごとなどの声に耳を傾ける……

この地道なフィールドサポートを通じて蓄積した膨大な声こそが、私たちの貴重なビジネスシードです。

現場のリアルな声を真摯に受け止めながら、アルバックの研究開発チームにフィードバックするとともに、

独自発想のソリューションをご提案していきます。



STRENGTHS OF ULVAC TECHNO

アルバックテクノの強み

メンテナンス発想の トータルソリューションを。

お客さまの求めるニーズとアルバックが提供する機能……私たちアルバックテクノは、日々のメンテナンスサービスを通じてこれらの全てを把握しています。そのベストマッチングにより、お客さま固有の課題に適したソリューションを提供できることが私たちの強みです。これからも商品やサービスを導入されたお客さまとより能動的に関係を深めることで、カスタマーサクセス (Customer Success) という成功体験の喜びを共に分かち合っていきたいと思えます。

提案型の カスタマーサービスを推進。

アルバックテクノは、お客さまの生産現場に直接触れる機会を有するとともに、アルバック製品の全ての図面を保有しています。その知見を最大限に発揮させながら、サポートサービスに留まらない事業を推進しています。その大きな柱が、コンサルティングを通じた提案型カスタマーサービスの推進です。必要とあればアルバック製品にこだわることなく、外部企業の製品をも取り入れる……従来の常識に囚われることなく、私たちは真の「顧客満足」に繋がる提案を心がけていきます。

ソリューションの 本質を追求し、これからも。

お客さまの利用形態は、まさに100社100色。例えば半導体製造分野では、プロセスの再マッチングの大変さなどから今もレガシー装置を使用しているお客さまもいらっしゃいます。そんなお客さまが欲しているのは、なにも最先端装置へのリプレイス提案ではなく、装置の改善・改良提案に他なりません。全てのお客さまに寄り添いながら、“ジャストな選択肢”を共に考え最適解を提案していく……このソリューションの本質を見失うことなく、私たちはお客さまの企業躍進と真空技術の発展を支えていきます。

GREETINGS

ごあいさつ



代表取締役社長
島田 鉄也

真空機器総合サービス企業として お客さまのご要望にお応えします。

当社は、1979年(昭和54年)1月、株式会社アルバック(当時・日本真空技術株式会社)のサービス部門が分離独立し、真空総合メーカーならではの高度な真空機器・装置の保守管理事業を目的として設立されました。

真空機器・装置の保守メンテナンス業務、装置の改良・改善業務、装置の再生やお客さまからご要望いただく装置製造、表面処理加工や再生洗浄(精密洗浄)、部品や真空材料の供給サービス、そして中古売買に至るまで、お客さまの多彩なご要望にお応えしています。

サービス事業の最大の使命は、お客さまの生産ラインをサポートすることを通して、お客さまに安心を提供すること、さらには装置や機器、その他付帯設備において、お客さまの「やりたいことを実現させる」ことと考えております。そのために全国にCSセンターを展開し、アルバックグループのお客さま窓口としての役割とサービス事業の強化を図っています。

お客さまの海外での事業に関しましても、アルバックの海外法人との連携により国内同様の当社サービスを展開し、みなさまのご要望にお応えしてまいります。

経営方針

アルバックテクノ株式会社は、アルバックグループの一員として、真空機器・装置等に関するメンテナンス、部品販売、装置・機器の改造、中古機売買、洗浄、表面処理などのサービス業務をご提供してまいりました。

設立以来「お客さま第一主義」という企業理念を持ち、社是として「我が社は顧客の信頼を大切にする」「我が社は顧客に役立つ行動をする」の2つを掲げています。

高度化する社会とともにますます欠かすことのできない真空機器・装置において、アルバックテクノは最新装置・機器とレガシー装置・機器の双方を豊富な経験と技術を融合しサポートすることを使命としています。これからもお客さまに寄り添ったサポートを通じてより多くの価値や利益をご提供するとともに、私たち自身も日々の改善と成長を目指してまいります。

環境保全／サステナビリティの取り組み

企業市民として、地球の一員として私たちアルバックテクノは以下の方針のもと、具体的な施策を展開し、持続的な未来に貢献していきます。

環境

サポートサービス活動を通じて、地球環境の保全及び汚染の予防活動に取り組むとともに、環境マネジメントシステムを導入し全従業員参加の基に継続的な環境改善活動を実施。また、環境に関する法規制などを遵守するとともに、環境負荷の削減や省エネルギー、廃棄物のリサイクルや製品に含まれる有害物質の全廃を重要課題として活動を行うと共に、定期的な見直しを実施します。

サステナビリティ

アルバックグループの「サステナビリティ方針」を基に「マテリアリティ」を設定。

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

会社概要

商号	アルバックテクノ株式会社 ULVAC TECHNO, Ltd.
商標	ULVAC TECHNO
本社・工場	神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5
創業	1979年1月1日
代表者	代表取締役社長 島田 鉄也
資本金	125,000,000円
事業内容	メンテナンスサービス、機器・装置販売、中古の真空機器・装置の売買、内部治具の洗浄、真空材料・部品・消耗品販売、金属表面処理、化学的処理によるクリーン洗浄、太陽電池、電気自動車関連サービス、電気工事、真空技術全般に関する研究指導・技術顧問
大株主	株式会社アルバック

サービス拠点一覧



北海道地方

北海道CSセンター

〒066-0064 北海道千歳市錦町4丁目1838-10
TEL 0123-40-7760 FAX 0123-40-7730

東北地方

岩手CSセンター

〒024-0014 岩手県北上市流通センター 15-35
TEL 0197-68-2665 FAX 0197-68-2124

宮城CSセンター

〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2-3-1
TEL 022-358-7788 FAX 022-358-7720

山形CSセンター

〒999-3716 山形県東根市蟹沢1863-13
TEL 0237-43-7888 FAX 0237-41-0388

関東地方

茨城CSセンター

〒311-0102 茨城県那珂市向山1232-12
TEL 029-295-1341 FAX 029-295-2073

埼玉CSセンター

〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台2-14-11
TEL 04-2969-5100 FAX 04-2955-9111

茂原CSセンター

〒299-4114 千葉県茂原市本納3210-7
TEL 0475-34-4451 FAX 0475-34-4452

茅ヶ崎CSセンター

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5
TEL 0467-87-1045 FAX 0467-58-4361

社名について

アルバックテクノが属するアルバックグループに使用されている「ULVAC (アルバック)」とは、「**真空が持つ無限の可能性を追求する**」ことを意味する“**Ultimate in VACuum**”からつくられた商標名で、社名としても使用しています。真空技術は、私たちの暮らしはもちろんのこと、省エネ・創エネ分野、情報通信分野に代表されるIoT(Internet of Things)にまで、無限の可能性を発揮して、幅広い分野で貢献を続けています。

中部地方

長野CSセンター

〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村1805-3
TEL 0263-54-2954 FAX 0263-54-2955

新潟出張所

〒944-0009 新潟県妙高市東陽町2-4
TEL 0255-72-6975 FAX 0255-72-6977

愛知CSセンター

〒444-0007 愛知県岡崎市大平町字榎田31
TEL 0564-24-4884 FAX 0564-25-1919

静岡CSセンター

〒436-0020 静岡県掛川市矢崎町2-5
TEL 0537-62-1822 FAX 0537-62-1823

北陸CSセンター

〒924-0835 石川県白山市漆島町1140
TEL 076-274-5595 FAX 076-274-5852

近畿地方

四日市CSセンター

〒510-0076 三重県四日市市堀木2-10-17
TEL 059-356-8001 FAX 059-351-2531

三重出張所

〒519-1106 三重県亀山市関町会下1206-1
TEL 0595-96-2951 FAX 0595-96-2974

尼崎CSセンター

〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2-7-18
TEL 06-6482-3800 FAX 06-6481-7400

姫路CSセンター

〒679-4129 兵庫県たつの市龍野町堂本字乗屋敷532-1
TEL 0791-62-2774 FAX 0791-62-2797

滋賀CSセンター

〒520-2313 滋賀県野洲市大篠原字正法寺100-20
TEL 077-586-2510 FAX 077-586-2531

中国地方

広島CSセンター

〒739-0042 広島県東広島市西条町西条東909番1
TEL 082-493-5010 FAX 082-493-5007

四国地方

徳島CSセンター

〒770-8012 徳島県徳島市大原町中須33-1
TEL 088-615-8500 FAX 088-615-8501

九州地方

熊本CSセンター

〒861-1201 熊本県菊池市泗水町吉富100-31
TEL 0968-38-3322 FAX 0968-38-2340

福岡CSセンター

〒819-1613 福岡県糸島市二丈松末839-1
TEL 092-330-3900 FAX 092-330-3902

大分CSセンター

〒870-0278 大分県大分市青崎1-12-41
TEL 097-522-3803 FAX 097-522-3806

鹿児島CSセンター

〒899-6301 鹿児島県霧島市横川町上ノ3313
TEL 0995-72-1919 FAX 0995-72-1134